

森林が持つ さまざまな公益的な機能の発揮



箕面大滝と急峻な渓谷美、四季折々に美しい山なみ景観、みどり豊かな自然の恵みを求めて、箕面の森林には、外国人を含めた多くの観光客が訪れます。

森林には、レクリエーションややすらぎの場として、人を呼び寄せる機能がありますが、その他に、水をたくわえて洪水を防ぐ、山くずれを防ぐ、二酸化炭素を吸収し空気をきれいにする、生きものすみかとなる、林産物を生産するなど、さまざまな公益的な機能があります。

自然の恵みを受取るだけでなく、箕面の森林がどうなっているのか、地球温暖化の影響で各地で自然災害が発生しているが大丈夫なのか、自分のこととして考えるべきではないでしょうか？

経済的な価値がなくなり放置された里山林の荒廃が進み、森林が果たしてきた公益的な機能が著しく低下しています。

箕面は市街地の背後に山麓部が迫っており、ひとたび自然災害が発生すると、生命や財産が危険にさらされることとなります。

行政による取り組みだけでなく、出来る限り災害が起きにくく、被害を最小限にとどめることができるよう、山林所有者や市民を加えた「協働」の取り組みが求められています。



山麓部の紅葉 芦原池から



五藤池(白島)から

実りの秋 赤い木の実のいろいろ

秋から冬の季節、山を歩いていると、赤い実をつける植物が目につきます。町なかの花屋さんの店頭でも、赤い実をつけるセンリョウやマンリョウ、ナンテンなどが縁起物として人気で、クリスマスリースや正月飾りにも使われています。

自分で動けない植物ですが、いろいろなところに生育地を広げるためには、誰かに種を運んでもらわなければなりません。運んでもらうためには、気が付いてもらって、興味を持ってもらわないと始まりません。人にも人気の赤い実ですが、鳥たちにも人気のようです。人と鳥は、同じように赤い色を感じているかもしれませんね。



ムラサキシキブ



ガマズミ



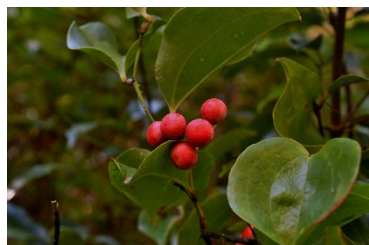
シロダモ



コマユミ



ゴンズイ



サルトリイバラ



ビナンカズラ



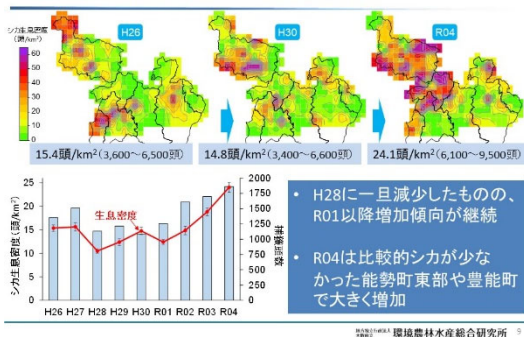
ソヨゴ

増えすぎたシカによる農林業や森林生態系に与える影響

1980年頃からニホンジカの生息数は全国的に拡大し、農林業や森林生態系に大きな影響を与えています。加えて、2012年に初確認され、全国に拡大している致死率が非常に高い人獣共通感染症(SFTS)の発生防止の面でも、里山・農地でのシカの出没・獣害の拡大は、大きな課題になっています。

箕面でも、農林業被害に加えて、植物の多様性の低下(シカが嫌いな植物の繁茂と希少植物の減少・消失)や他の生き物の生息環境への影響(茂みを好む鳥や昆虫の減少など)、下層植生が衰退することによる水源かん養や土砂崩れ防止機能の低下など、増えすぎたシカによる健全な森林が持つ公益的な機能の劣化が懸念されています。

シカ推定密度の変化(北摂全域)



北摂では24.1頭/km²(6,100~9,500頭)が生息

2016(H28)年に一旦減少したものの、2019(R1)年以降、増加傾向が継続しています。2022(R4)年は、比較的シカが少なかった能勢町や豊能町で大きく増加しています。

箕面市では、以前は国有林を中心に高密度で分布していたが、国有林内では大きく減少、一方で箕面市北部～豊能町に高密度地域が発生しています。市域全体では、近年やや減少傾向にありますが、箕面市北部を中心にさらなる取り組みが必要になっています。

シカ生息密度が10頭/km²程度を上回ると、下層植生衰退度や農業被害強度が著しく増加するといわれており、10頭/km²を上回る地域を中心に、頭数管理対策の継続などが重要です。シカが減少している地域でも植生の回復には時間がかかることが確認されています。

出典:大阪府立環境農林水産総合研究所生物多様性センター

また、一度、消失してしまうと下層植生の回復は絶望的(生態系の不可逆的変化)といわれており、多様性保全のための、希少種の保全対策が必要となっています。※下は、清水谷でのシカによる食害が著しい植物です。



イワヘゴ(シダ)の食害



アケボノソウの食害



シカが食べるモメンズル



トモエソウ

「八天の石蔵」の整備と適切な利用

箕面市教育委員会による国史跡八天の石蔵および町石の補修事業が行われており、すでに持国天・増長天・広目天・軍荼利明王・大威徳明王・金剛夜叉明王の六つの補修整備が終わりました。2023年・24年度中には多聞天と降三世明王の残り二つの整備が行われる予定です。

箕面の山中の歴史・文化遺産への関心が高まり、八天の石蔵を訪れるハイカーが増えています。通行や見学時での安心・安全面での適切な利用は十分ではありません。特に、金剛夜叉明王および多聞天の石蔵めぐりについては、大阪北摂霊園の管理敷地内にあり、墓参者の迷惑にならないように、注意していただきますようお願いいたします。

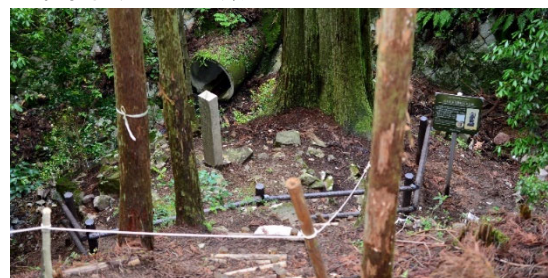
※詳しくは、HPみのお山なみネット⇒箕面の里山文化を育てよう⇒八天の石蔵をご参照ください。



軍荼利明王の石蔵



金剛夜叉明王の石蔵(北摂霊園内)



増長天の石蔵(狭い道の一方通行)



広目天の石蔵(木道上からの見学を推奨)



大威徳明王の石蔵(国の管理施設内)

10月28日(土) 山林整備ボランティア養成講座を開催！

山林所有者の高齢化や遠隔地に住んでいることなどで、自然緑地指定に同意された山林所有者からのボランティア派遣要請件数が増えており、2023年度は61件の要請を受けています。(昨年より5件増、一昨年より10件増) 毎年増えている山林所有者からの派遣要請に応えるために、一緒に活動していただけるボランティアを募集しています。

山林整備ボランティア養成講座(技術や知識を学ぶ講義+野外での実習)を受けて、箕面の山で楽しく活動しませんか！作業のしやすい冬の期間に、倒木処理や間伐などの活動を近くの箕面の山林で活発に行っています。初めての方でもベテランの山林整備サポーターと一緒になので安心して活動することができます。

★2022年度山林整備ボランティア派遣の実績 件数:56件 派遣ボランティア延べ人数:537人



箕面の森で活躍！山林整備ボランティア養成講座

★10月28日(土)午前10時～午後3時

※少雨決行

★集合…9:45 皿池公園(箕面市粟生外院5丁目)

★午前…基本的な技術や安全知識を学ぶ講義
午後…近くの民有林で、倒木処理や間伐を体験
(作業は手鋸のみで、チェーンソーは使いません)

※参加費は無料、事前申込が必要

11月3日(金・祝) 山とみどりのフェスティバル《体験フェア》を開催！

箕面の山のみどりとまちのみどりを、みんなで守り、育て、活かす、ご家族で楽しんでいただける企画がいっぱいです。

日時:11月3日(金・祝)午前10時30分～午後3時30分 場所:瀧安寺前広場・箕面駅前広場など ※雨天中止

○家族で楽しむ工作・体験コーナー:

【工作】木の切れはしなど自然素材やヒノキ材を使った工作、キーチェーン・バードコール、瀧ノ道ゆずるのしおり作り

【体験】竹てっぽう体験、ヒノキのきこり体験、瀧安寺ミニガイド、ハンモック体験など

○山のみどりを守る活動紹介:箕面の植物や生き物・オケ原池などでの活動紹介、里山の手入れや保全活動の紹介

○ステージ企画:「雨水の冒険」「もくざいの秘密」の紙芝居上演、「瀧道クイズ」、「箕面の森の音楽隊」による演奏

○まちのみどりを守る活動(阪急箕面駅前ステージ):竹トンボ作り、葉牡丹苗などの販売(募金付き)など



瀧安寺前広場



ステージでの紙芝居



木こり体験



生物多様性保全の活動紹介

11月23日(木・祝) 滝道ふれあい広場で「平成のぞきからくり」を開催！

のぞきからくりは、江戸から明治にかけて盛んだった見世物の一つ。屋台ののぞき穴の向こうに映る画像に合わせて、二人の口上師が竹筒を叩き調子を取りながら、からくり節にのせて物語を口上するというものです。

出し物は、いずれも箕面に伝わる民話や箕面ゆかりの人物の物語。箕面山ゆかりの役行者(えんのぎょうじゃ)や、乳酸飲料カルピスの発明者・三島海雲の物語(三島海雲は箕面市内の真宗寺院の生まれ)、箕面動物園物語など。

9月23日に「平成のぞきからくり」を開催しましたが、今回は11月23日(木・祝)開催の予定です。

ええみのお推進市民の会では、のぞきからくりとは別に、明治時代の終わりから大正時代の前半にあった箕面動物園と当時の箕面駅前の様子を再現したジオラマ模型を手作りで製作しています。

1910年(明治43年)、大阪梅田から宝塚、箕面を結んだ有馬箕面電気軌道(現在の阪急電車)が開通し、箕面駅(当時は箕面公園駅)ができました。当時の駅のホームはテニスラケットのようなループ状のユニークな形態でした。

その年、広場の北側の山の上のスーパーガーデンの敷地一帯には、日本で3番目に古い箕面動物園(東京上野動物園、京都市動物園に次ぐ)が開園しました。箕面動物園には、ゾウ、ライオン、ホッキョクグマなどがいたとのこと。

※箕面駅前と箕面動物園のジオラマ模型、11月23日の滝道ふれあい広場とは別に、11月3日(金・祝)に開催の山とみどりのフェスティバルでも瀧安寺前広場で展示する予定です。



滝道ふれあい広場



平成のぞきからくり



箕面駅前のジオラマ模型

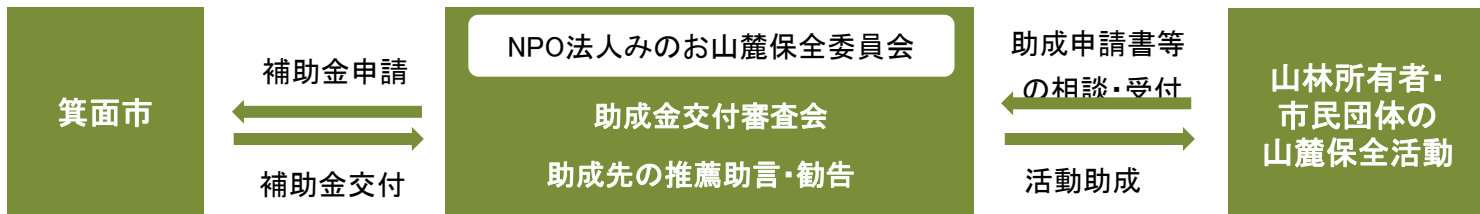


箕面動物園のジオラマ模型

持続的な仕組みによる 山麓保全活動の着実な推進

みのお山麓保全活動助成金は、四季折々に美しい箕面のみどり豊かな山麓を守り、育て、活かすために、山林所有者や市民の活動を応援(助成)する仕組みです。毎年、前期(2月)後期(8月)にその年度の活動を募集しています。NPO法人みのお山麓保全委員会は、中間支援組織として、山林所有者や市民の活動支援や助成金を活用した活動の相談や助成申請の受付などの事務を行っています。

《みのお山麓保全活動助成金の仕組み》



2022年度 山林所有者による山麓保全活動助成実績の概要

- 件数・・・87件(4件増)、助成金額・・・8,954,700円(397,100円増)
- 活動内容・・・徐間伐53件、倒木処理38件、下草刈19件、枯枝落し19件、つる切り19件、枝打ち14件、除草12件、落葉処理9件、ゴミ処理など3件、点検、見回りなど2件、計188件(複数回答)
- 山林整備ボランティア派遣要請:56件(5件増)、延べ537人の派遣。

2022年度 市民団体等による山麓保全活動助成実績の概要

- 件数・・・16件、助成採用金額2,156,500円に対して、実績額は1,965,162円、取り消しによる返還額は191,338円
- 支出費用実績・・・備品費551,879円、印刷製本費492,659円、消耗品費284,718円、業務委託費212,730円など

みのお山麓保全活動助成 後期(8月期)の助成を決定

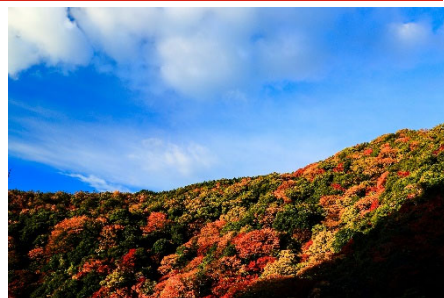
2023年後期(8月期)助成の概要

○山林所有者(自然緑地指定同意書提出者)の活動を助成

件数:20件、筆数:59筆、面積:83,013㎡、金額1,915,200円
 新規自然緑地同意件数:1件、面積:416㎡ 山林整備サポート要請件数:16件
 ※年間の山林整備サポート要請件数:計61件(前年より5件増)
 2023年度(年間)助成件数:89件、金額9,200,300円

○市民団体等の活動を助成

件数:3件、金額246,600円 2023年度(年間)助成件数:16件、金額1,857,600円



活動団体名	保全活動名	助成金額
01.箕面ナチュラルクラブ	オヶ原池堰堤の保全活動	¥99,000
02.みのおフォレストアズ	竹林整備と竹材の有効活動	¥46,600
03.中高大連携森林学習プロジェクト	森林保全のパンフレット作成・配布による啓発活動	¥101,000

紅葉シーズンの箕面ドライブウェイの一方通行規制

11月から12月中旬の土・日・祝日は、箕面ドライブウェイ(府道43号線豊中亀岡線)における紅葉シーズンの交通渋滞を緩和するため、一方通行規制が行われます(自転車も対象です)。

実施日・・・11月11日(土)～12月3日(日)までの土・日・祝日、9日間

規制時間・・・午前9時～午後6時

規制区域・・・箕面ドライブウェイ みのお山荘風の杜前～箕面川ダム下三叉路

○林道オヶ原線は、上記の規制実施日の時間中のみ箕面駅方面(南向き)一方通行路として通行できます。

○上記の期間中に、箕面ビジターセンターへ車で行かれる場合は、浄水場前交差点から箕面ドライブウェイを通行してください。西田橋・勝尾寺方面から箕面ビジターセンター方面へ車で行くことは出来ません。

※規制期間中は終日、勝尾寺駐車場へは大滝方面(西方面)から入庫できません。(勝尾寺口方面(東方面)からのみ入庫可能です)。



NPO法人 みのお山麓保全委員会

〒562-0001箕面市箕面6-3-1 みのおサンプラザ1号館2階211号室

電話&FAX: 072-724-3615 携帯電話: 090-1133-3615

メール: yama-nami@yama-nami.net

ホームページ: www.yama-nami.net(検索: 山なみネット)

* 箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

